

令和２年度第１回甲賀市介護保険運営協議会 概要報告

- １．開催日時 令和２年７月２日（木）
午後２時００分～午後３時３０分まで
- ２．開催場所 あいこうか市民ホール 展示室
- ３．議 題
 - １）令和元年度介護保険事業進捗状況等について【資料１】
 - ２）介護保険事業について（予算決算および施設整備状況）【資料２】
 - ３）地域包括支援センターの業務委託について【資料３】
 - ４）第８期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について
- ４．その他 介護保険料の仮算定の廃止について

- ５．公開又は非公開の別 公開

６．出席者

委 員 栗田会長、今村副会長、中井委員、山形委員、前川委員、富岡委員、
田中委員、別所委員、島田委員、西野委員、大矢委員、橋本委員、
西澤委員、松宮委員（欠席：生田委員、葛江委員）

事務局 （健康福祉部） 樫野部長 西田次長 （すこやか支援課）小西課長
（福祉医療政策課）村田課長 （長寿福祉課）伴課長 菊田課長補佐
岡崎課長補佐 森地係長 山本係長

７．会議成立の報告

出席委員は１４名で、委員の２分の１以上の出席であることから、当協議会要綱第７条１項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

- ８．会長・副会長の選出 会長：栗田委員 副会長：今村委員

９．議事の概要

- １）令和元年度介護保険事業進捗状況等について【資料１】
- ２）介護保険事業について（予算決算および施設整備状況）【資料２】

事務局 資料に基づき説明

（質 疑） 特に質問、意見なし

3) 地域包括支援センターの業務委託について【資料3】

事務局 資料に基づき説明

(質 疑)

委員 地域包括支援センターの委託の公募は、1年延びて、来年7月になる
と考えてよいか。

また、先進地へ研修に行かせていただいたが、委託先の事業所によっ
てエリア差が出ない、公益性が担保できる仕組みづくりが必要と感じ
た。十分考えて行ってほしい。

事務局 エリア差を出さない、公益性を担保するという点は、以前からの課題
でもありますので、市のほうからの後方支援と水口はもう1圏域は直営
ですので、そちらからの協力の両方の体制で行っていく予定です。

委員 地域包括支援センターの在り方について、260名いる民生委員児童
委員の皆さんの考えを聞いていただきたい。結論はそれからでもよいの
ではないかと思う。

事務局 相談等に今後も地域包括支援センターをご活用いただきたいと思います
ですので、民生委員児童委員の方々とお話できる機会は持てたらよいと思
っています。

委員 委託先はどのようにして選ぶのか。

事務局 プロポーザルですので、手上げ方式となります。

委員 うちの中でもこの問題については、関心が高くなっている。なぜ公が
しないのかといった意見もあるなかで、全国的には公から民間への流れ
はやむなしと思っているところ。専門職も一定の人数をそろえているの
で、役割はあるかもしれないが、十分調査し、意見を聞いたうえで判断
していきたいと思う。

委員 地域包括ケアシステムの構築目標が2025年ということだが、地域で
の活動はなかなか広がっていかない。また、新型コロナウイルスの影響
で、これまでの活動も休止となっている。あと5年という時期にきてい
るが、どのような到達点を考え、どう評価をしているのか。

事務局 地域での到達点はなかなか計るのが難しいところです。地域差もあり
熱心にしていただいているところと、そうでないところがあり、全体的
な底上げはしていかないといけないとは感じています。それには時間も
かかりますし、活動を熱心にしていただいているところから、だんだん
広めていきたいと思いますが、これをしたら全体的に広がるというよう

な決まった方策ありませんので、皆様のお知恵をお借りして徐々に広めていければとは考えております。

委員 包括委託の件で、予算措置については資料のどこにあるのか。

事務局 資料には細かいところまでは記載できておりません

委員 専門職が3名いるが、人件費もきちっと見ているのか。手を挙げた事業所が何割か負担してということはないのか。

事務局 今年度の予算としては、準備期間の3か月で、3職種の平均的な人件費分を見て予算を挙げています。場所は市の建物に入っただき、必要な備品分も含めて計上しています。

委員 今まで通り地域包括支援センターが運営されていく、あるいは、住民の信頼を得られるということが非常に大事。委託を受けた民間と連携が取れなくて、サービスの差が出ないように委託の方法も考えてほしい。

事務局 いろんな意見を先進地からも聞かせていただいていますので、参考にしながら甲賀市の状況に合わせて予算も見ていきたいと思います。

委員 初めての試みなので、難しいと思うが、逆に甲賀市の特徴を出して形にしていく機会でもあるので、これまでの意見も踏まえてやっていただきたい。

4) 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について

事務局 資料に基づき説明

(質 疑)

委員 介護保険運営委員会と策定委員会は別のものか。

事務局 介護保険運営委員会が策定委員会となります。

委員 計画の策定において、厚生労働省がいうベースはあるが、甲賀市独自でどうやるかということは盛り込んでもいいのか。

また、甲賀市総合計画や甲賀市地域福祉計画がベースにあるということだが、内容を知らされていない。

事務局 介護給付の事業は国の規定がありますのでそれに則ってということになりますが、地域支援事業の介護予防の部分は市独自のやり方を盛り込んでいける部分があります。

関係計画については、次回資料をお付けします。

- 委員 県の計画との関係性という点で補足しますと、介護保険の給付を受けるものは、オールジャパンで決まっていますので、独自のものを作るのは難しいのですが、予防事業の中で、工夫をしていくということを議論していただくというスタンスでよいと思います。
- 委員 規則の中でやっていくのはいろいろ難しいと思うが、できることは盛り込んでいきながら、ほかの計画を踏まえて充実させていきましょう。
- 委員 第7期計画の評価だが、個別の自己評価シートや数値目標の達成率といったものは資料にあるが、見ていてもどこまで達成できているのか、現在がどういった状況なのかよくわからない。
また、今回はケアマネへの調査をされたが、どう考えているか。
- 事務局 ケアマネへのアンケートは実施予定です。内容は次回お示しします。第7期の評価についても、次回もう少し詳細な資料をお出しできればと思います。
- 委員 日常生活圏域ニーズ調査は、4回目だと思うが、前回との比較はしているのか。
自己評価シートを見ても現状や課題からどういう目的で事業を行ったのか、事業を行った結果どうなったのかわからない。PDCAサイクルのシステムを理解しているのか。
また、人事異動で何人も替わっているが、状況の引継ぎはされているのか。
- 事務局 ニーズ調査の結果については、前回までの結果も踏まえて検討してまいります。また、自己評価シートについても、できた、できなかった、で終わりではなく、課題がどこにあるのか、どこにつまずいたのか、どう進めたらよいのかということが大事ですので、しっかりと検討して次につなげていきたいと思います。
- 委員 資料3の8ページの介護保険サービスの利用状況で、達成率が高いところと低いところがあるが、低いところは達成率を上げるよう何か施策を行うものなのか。
- 事務局 介護サービスの利用について、適正なケアプランに基づいて必要な方が利用をしていただければ、計画値と離れていても、構わないと思っています。例えば、もっとたくさんの方が利用したいけれども整備されていないとか、利用を控えておられるとか、逆に過剰に利用をしておられるというような状況があるということであれば、その点はケアマネジメントの視点からも改善が必要かとは思いますが、この利用状況で達成率が100%から離れているからいけないという評価に直結するものではないと考えています。
- 委員 資料2の2ページに公募状況の記載があるが、これは、第7期に計画したものか。

事務局 そうです。

委員 第 7 期で未整備のものはこれだけか。

事務局 公募中のものはこの小規模多機能型居宅介護だけです。これとは別に
もう 1 か所小規模多機能型居宅介護を計画していましたが、期間的に整
備が難しいということで、公募を取りやめています。

委員 地域に小規模多機能型居宅介護というのは必要なものだと思うので、
できてきたらよいと思う。

その他 介護保険料の仮算定の廃止について

事務局 資料に基づき説明

- ・ 令和 3 年度から普通徴収の仮算定の廃止を考えている。
- ・ 県内 13 市のうち、仮算定を実施しているのは 2 市のみ。
- ・ 今年度 11 月に近隣 7 市が加入しているおうみ自治体クラウドヘシ
ステム移行するが仮算定機能がなく、システム改修や運営の変更は
リスクが懸念される。
- ・ 仮算定を廃止した場合、本算定を 6 月に変更し、納期回数を 10 回
確保する。
- ・ 普通徴収の仮算定分の保険料の徴収が 6 月以降になるが、会計への
影響はなし。

(質 疑) 特になし (全委員承認)

会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開・非公開は、資料に個人情報等の非公開にしなけ
ればならない内容は含まれておりませんので、すべて公開としたいと考
えております。議事録の発言については個人名ではなく、委員として記
載して公開させていただきます。

